

年月日

26 01 13

ページ

26

N.O.

目指せ

100億企業

ニューロング工業（東京都葛飾区、長保行社長）は、紙袋の製造に用いる製袋機や自動包装機などの製造、販売を手がける。設計、部品製造からアフターメンテナンスまで顧客に寄り添った体制が強みだ。海外売上高の拡大により2026年9月期に売上高100億円を達成し、29年9月期には150億円まで伸ばすことを目指す。長保行社長に今後の事業戦略を聞いた。

（松本理志）
—「100億宣言」に名乗りを上げた経緯は、「懇意にしている金融機関から声をかけてもらつたのがきっかけだ。良い効果を生む取り組みになると期待している。社員にとって一つの目標になる」だ。良い効果を生む取り組みになると期待している。社員にとって一つの目標になる

—融機関から声をかけてもらつたのがきっかけだ。良い効果を生む取り組みになると期待している。社員にとって一つの目標になる

—融機関から声をかけてもらつたのがきっかけだ。良い効果を生む取り組みになると期待している。社員にとって一つの目標になる

—融機関から声をかけてもらつたのがきっかけだ。良い効果を生む取り組みと一緒に、M&A（合併・買収）による現地企業の操作性を向上できる

—海外売上高の拡大を目指しています。

製袋・包装機 海外で拡販

社長 長 保 行 氏



現地生産・メンテまで一貫



袋製袋機

（当社の袋製袋機）

（随时掲載）

福島県の喜多方工場で製造する小

間のアームの位置調整を行なう特

機械のうち1種類の紙袋を製造する単能機は、最も速いモデルで1分間に500袋を生産可能だ。機械で紙袋を折る際のロボットが行う特

別に、中長期的には南米に営業拠点を整備する構想もある」「自標達成に向けた課題は、

【企業データ】前身の長ミシン商会は1941年に創業し、麻袋補修用ミシンの製造を開始。56年に製造部門をニューロング工業として法人化した。工業用ミシン、自動包装機、製袋機は国内トップシェア。製品の設計から部品製造、組み立て、アフターサービスまで自社で一貫提供しており、部品は80%以上を自社生産する。2024年には「紙袋の製造に用いる製袋機」が第18回葛飾ブランド「葛飾町工場（まちこうば）物語」に認定された。売上高は25年9月期が95億円。26年9月期に100億円を達成し、29年9月期には150億円まで伸ばすことを目指す。